

# 県連ニュース

2020年 5月号 NO-514



『虹（剣岳早月尾根）』

## 滋賀県勤労者山岳連盟

## 2020年 5月号 目次

リレーエッセイ .....	2
ぐうたら会長のつぶやき .....	3
編集部からのお詫びと報告 .....	4
予 定 表 .....	5

表紙の写真：『虹（剣岳草月尾根）』

撮影者 滋賀山友会 新田康昭 2018. 7. 29

## リレーエッセイ

湖西線の車窓から見上げる比良の山脈は四季、色々な顔を見せている。  
今年の冬山は積雪に恵まれず少し残念だった。  
これも異常気象か？冬は、やっぱり白銀の稜線歩きを満喫したいものだ！

獣除けの柵の扉を開けると、そこから新しい世界が広がる。  
一歩足を踏み入ると、その先には四季折々の彩がある。  
今日はどんな世界を見せてくれるのだろうか？楽しみだ。  
歩き始めは、ゆっくりユックリ進む。

芽吹き始めのブナの木々を見上げると胸のすく思いがする  
モクモクと湧いてくる真っ白な入道雲を見ると“力”が湧いて来る。  
カサコソと落ち葉を踏みしめ歩く季節は少し寂しくなる気がする。  
樹氷が輝く冬の季節は勇気が湧いて来る気がして好きだ。  
高度が上るにつけ木々が低くなって来る。

小さなピークに着き、振り返ると眼下に大きな琵琶湖が広がっている。  
その向こうに鈴鹿山系を望み遠く白山や御岳山を望む時もある。  
疎林を抜けると頂上に着く。  
貸し切のピークで“さあー”珈琲タイムとしよう！

比良に、のめり込み三年が過ぎた。  
歩いても歩いても、また新しいルートを見つけてしまう。  
全ルート踏査まであと何度の山旅をすれば終わるのだろうか？  
ゴールは未だ見えないが明日も多分、比良を歩き続けているだろう・・・

豊田 永浩

## ぐうたら会長のつぶやき

新型コロナの感染防止で様々な活動が滞っています。総会も中止となり、清掃登山も中止や延期となっています。山友会では7月まで例会を中止する事となりました。

ただ山は密閉空間ではありませんし、三密状態になる事も少ないと思います。感染防止対策を十分にして、多人数にならないように工夫して山歩きをしても良いとは思っています。

私事ですが白内障の手術も無事に終わり、眼鏡がなくても良く見えるようになりました。ただ習慣と言うのは恐ろしいもので、目覚めると眼鏡を探して手を伸ばしてしまいます。

比良の沢、第6弾です。

No429 87-6 荒谷&横谷(比良の沢) 1987年6月24~25日

(コースタイム)

6/24 細川 9:45---9:50 荒谷出合---10:05 入溪 10:25---10:45 大ガレ---11:40 大滝上  
11:55---12:20 二俣---13:20 水切れ---13:45 稜線---13:55 釣瓶岳 14:15---15:10 地蔵山  
15:20---15:45 ヨコタ峠---16:25 横谷大堰堤

6/25 大堰堤 6:55---8:25 登山道 8:55---9:20 ボボフダ峠---9:45 蛇谷ヶ峰 10:25---11:10  
猪の馬場 11:20---11:30 林道出合---11:55 桑野橋---12:20 上岩瀬

(報告)

6/24 細川より歩いて5分で荒谷出合。右岸の小道をしばらく辿り、少し早いと思ったが10時05分入溪。20分ほどで大ガレに出た。小滝を幾つか越えて行く。二つほどしぶいバランスの滝がありザックを下ろして登った。20mほどの美しい大滝に出る。右から高巻く。小道があり割と簡単に上に出て休憩する。後は水遊びをしながら登る。二俣は右にとる。小滝が連続して楽しかった。ミニゴルジュもあった。最後の二俣を水の多い右にとる。水が切れて25分ほど登ると釣瓶岳手前のピークに出た。縦走路を釣瓶岳、地蔵山と越えヨコタ峠に着く。左へ雑草の茂った道を藪分けしつつ下る。ガサガサと横谷の流れに出ると道は良くなり、少し下ると林道終点の大堰堤に出た。これ以上下っても意味がないので、明日はここから横谷を登る事にして、

ここでビバークとする。食事中に視線を感じて振り向くと猿がこちらを見ていた。

6/25 のんびりと明るくなる空を見つめていた。空には大きな雲の塊が浮かぶ。天気はもった様だ。こんなにのんびりした朝はいつ以来だろう。もう忘れるくらい昔のような気がする。6時55分出発。堰堤のすぐ上から入渓。小ゴルジュ帯となる。藪が少しうるさいが楽しく遡行。初心者向きの沢で小ゴルジュの突破は楽しめる。廊下状を抜けると、後は時々小滝があるくらいで平凡。ポポフダ峠への道に出て遡行終了。天気が良いので蛇谷ヶ峰の山頂を踏んで桑野橋に下山。下山中に蛇をたくさん見た。木陰の多い気持ちの良い道を林道に出て、桑野橋から缶ビールを求めて上岩瀬まで歩いた。

## お詫びと報告

県連ニュース編集部

5月号の県連ニュースは内容が少ない短いものになってしまいました。

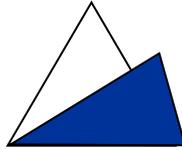
滋賀県でも4月14日に緊急事態宣言が出され、そのニュースを追っていると、まだ原稿をほとんど受け取っていないこともあり、原稿締め切り日が過ぎていました。県連の主な行事だけでなく、傘下各会の活動もほとんどすべて中止になり、行事の計画、例会報告などの寄稿がなくなることは当然予想されたことで、早く手を打つべきでした。しかし、発行を中止するより短くても続ける方が良いと判断して発行することに致しました。

次号も同じような状態は続いていると思います。そこで、この事態に山男としてどう切り抜けようとしているかなどの記事を載せ紙面を盛り上げられたらと思います。皆さまふるって寄稿をお願い致します。

ところで、2019年度の代表者会議で**県連ニュースを電子版（PDF版）のみの配信にすることについて今年度検討する**ことになったことはご存知と思いますが、更にコロナウイルス感染拡大阻止の観点から、事務所に集まり印刷・製本・発送の業務は3蜜にもなり止めることとし、**この事態が収まるまで県連ニュースは電子版のみの配信**とすることに致しました。ご理解を賜りますよう、宜しくお願い致します。

どうしても印刷物が欲しい方は各会又は各自でPDF版をプリントアウトして読むようにしていただきたいと思います。





2020年6月号の原稿は、5月15日〆切です。  
原稿の投稿先は [tfurukawa@dj8.so-net.ne.jp](mailto:tfurukawa@dj8.so-net.ne.jp) まで、用紙サイズは **B5**、  
フォントは本文 **10.5~11**、タイトル **12~14**、余白は上下左右 **19mm**とし、  
使用する写真は **200KB 以内**としてください。  
皆様のご協力をお願いいたします。

「県連ニュース 5月号」 No.514

発行日：2020年4月20日

滋賀県勤労者山岳連盟

TEL 080-4971-6231

〒520-0836

Email [shigarosan@gmail.com](mailto:shigarosan@gmail.com)

大津市杉浦町 9-30

ゆうちょ銀行（店名 418）

<http://shigarosan.jimdo.com/>

普通 0239956

発行責任者 宮内 眞子

編集委員 高玉 敬子 古川 哲郎 渡壁 由美子